

50th

令和5年度3月最終号 [3月26日(発行)]



校訓 自主・協同・創造

岸川中だより

川口市立岸川中学校
川口市安行領根岸374番地の1
TEL268-4506 FAX268-4761
特別支援学級 TEL268-7110
さわやか相談室TEL268-4510
<https://kishikawa.official.jp>

岸川中の P・P・P を考える のころ

校長 松田 隆幸

今年度も、少し(?)変わった切り口で・・・どこか「クスッ」と笑えるような・・・でも、そう言えばそうかも・・・と、納得できる学校だよりを作ることに努めてまいりました。「紙」という媒体が、消えかかっている中で、地元町会の皆様へのお手元に、確実にお届けできるメディアとして、読まれる方々を想い、フォント等も気を付けてきたところではありますが、今年度も最後の学校だよりとなりました。今回のタイトルは、またまた変わったものでして、P・P・P であります。「川口駅に上野東京ラインが停まる」というニュースがありましたが、その際の市長のコメントの中に、「川口市のポテンシャルを活かして、都市間競争に勝つ…」という言葉がありました。最初のPはポテンシャルのPです。岸川中のポテンシャルを考えた時に、気持ちの優しい生徒達、小学校との連携やら、開校以来の健康教育の業績等たくさんある中で、際が立っているのが、「地域からの支援体制が整っている」ことだと思います。岸川中学校のこれまでの実績には、地域の皆様のご協力があってこそ！他校に負けない、我が校の最大のポテンシャルは、地域の支えであることです。

次に、「川口市のポテンシャルを活かして、都市間競争に勝つ…」から、更に引用させていただくと、ポテンシャルをパフォーマンスとして発揮すること。潜在する能力だけではなく、表現できる。結果を出せる能力として、表現することが大切だと思います。要は、先生が生徒の力をいかに引き出すかということになるかだと思います。最後に、都市間競争、、、つまりは、ポジション争い。中核市としてのポジションなど、市としてはいろいろとあるところでしょうが、教育現場ではそもそも争いはなじまないし、順位より、伸び率が大切という考えもあります。そのような中でも気になるのは、岸川中学校のポジションは？どの位置？それは、学力？それとも体力？学校としては、あらゆるポジションをあげる(教育成果を結果として出す)ことを目標とします。学校として、皆様方からいただく、総合評価的なポジションが上がるように、努めてまいります。川口市も、更に選ばれる市へ…と言っているのです、岸川中学校は、更に、行って良かったと思われる学校づくりのために…ということになるかと思っています。

さて、語呂合わせ的に三つのPで岸川中を表現したかったのですが、potential・performance・position 地域の皆様からの信頼を基に、ご理解・ご協力を得て、新しい年度の出発となります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度全国健康づくり推進学校最優秀校を受賞しました

2023 Kishikawa.J.H.S 50th ANNIVERSARY